



会報 安来節

YASU GI BUSHI

発行所 安来節保存会

〒692-0064
島根県安来市古川町534
TEL 0854-28-9988
FAX 0854-28-9393
http://www.y-hozon.com/
E-mail:admin@y-hozon.com

名人



原文男
鼓の部(松江)

十一月十六日に開催された安来節保存会代議員会を経て、平成二十年度の上位昇格者と表彰者が決定致しました。今回、原文男さんが、鼓の部では二十九年ぶりの名人となられ、准名人に九名、大師範に二十一名の方が昇格されました。おめでとうございます。来年の一月十日の唄い初め会において、免状・表彰状の授与と昇格披露を行います。

—— 大師範(二十一名) ——

- | | |
|--------------|--------------|
| 唄吉野和夫(本部道場) | 唄眞野和也(尾高) |
| 唄日高富美子(石見) | 唄保田容来(智頭) |
| 鼓小泉宣明(神門) | 唄足立勝江(津ノ井) |
| 踊藤原只男(宍道) | 絃森口慎夫(鳥取) |
| 唄大庭秀子(津和野) | 唄佐々木 稔(芸北) |
| 唄金谷 正(那賀) | 絃平本真理子(広島玉美) |
| 唄久利浩二郎(浜田中央) | 絃長部啓二(鯉城) |
| 鼓多々納徳子(斐川) | 絃伊丹克己(岡山) |
| 唄今岡光枝(北陽) | 踊三宅良貞(岡山) |
| 鼓小村顕二(松江) | 絃北村八重子(関西) |
| 唄増野岩登(瑞穂) | |
- (総会資料名簿順)

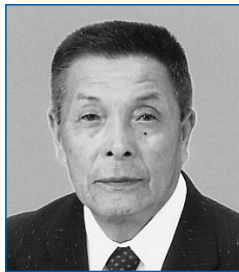
会員表彰者

(四十三名)

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 永田三和子(本部道場) | 岡崎勝昭(浜田中央) | 門脇枝美子(米子) |
| 原谷洋子(本部道場) | 吉岡信子(浜田中央) | 山根 保(江田島能美) |
| 松原美代子(出雲) | 和田守 淳(斐川) | 堀池彰次(広島) |
| 藤田 勉(石見) | 錦織 勇(平田) | 大下順子(広島玉美) |
| 波多野徳次(大田) | 斉藤初美(益田) | 発知紀子(広島西) |
| 石河重馬(加茂) | 石田泰子(益美) | 福内璋典(岡山) |
| 安井義則(神門) | 福岡久枝(松江) | 木村千里(岡山) |
| 上柿公雄(湖陵) | 坂本君義(松江) | 梶並純子(津山) |
| 坂本恵美子(宍道) | 林 恭吾(瑞穂) | 幾度繁治(山口) |
| 田中 翠(大社) | 田中美佐江(津ノ井) | 越智咲子(伊予道後) |
| 村上道春(津和野) | 木村登志江(東伯) | 井上春雄(松山) |
| 大庭秀子(津和野) | 牧田累子(東伯) | 尾崎由己知(関西) |
| 梅田尚枝(那賀) | 吉村亜希子(鳥取) | 原田美知子(関西) |
| 佐野木祿雄(仁多) | 湯口孝子(鳥取) | |
| 川神清美(浜田) | 小泉かおる(法勝寺) | |
- (総会資料名簿順)

上位昇格者

—— 准名人(九名) ——



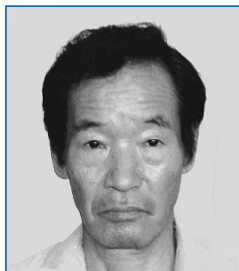
初田寿夫
踊の部(益田)



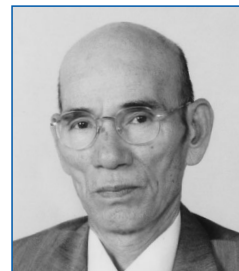
糸賀忠義
鼓の部(本部道場)



足立茂実
絃の部(本部道場)



中井勇一
唄の部(法勝寺)



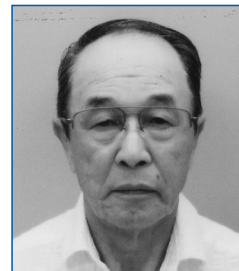
樫野暉夫
唄の部(境港東)



矢倉義法
絃の部(尾高)



石岡邦宏
絃の部(松山)



石川弘一
唄の部(江田島能美)



足立 稔
鼓の部(米子)

新役員決定

任期 平成19年10月1日～平成21年9月30日

このたびの役員改選に伴い、新役員が決定しました。安来節がますます普及・発展するよう新役員の方々のご尽力に期待し、会員の皆様のご協力をお願いします。

会 長

島田 二郎 (市長)

監 事

糸賀 忠義
山根 信重

副会長

安達 武敏 (副市長)

資格審査員

安達 順吉
渡部 前治
仲達 長吉
渡部 順吉

専務理事

大森 栄

常務理事

細田 勤 (市産業振興部部長)

理事

青砥 治朗 (商工会議所)

四代目

渡部 お系 (家元)

金山 満輝 (資格審査長)

田中 武夫 (指導部長)

西村 弘美 (市議会議員)

家原 雄夫 (本部フロック)

中本 實夫 (本部フロック)

松浦 保潔 (出雲フロック)

大石 義富 (益田フロック)

三賀 森忍 (浜田フロック)

古本 充 (鳥取フロック)

高次 春雄 (広島フロック)

勝部 一央 (石見フロック)

野坂 亮若 (岡山フロック)

指導部員

石川 弘一

石岡 邦宏

前嶋 茂

須野 幸吉

榎野 哲郎

越野 幸吉

矢野 哲郎

出雲 正之助

佐々木 偉市

足立 文男

原安 夫

上代 吉

渡部 順吉

仲達 長吉

安達 順吉

資格審査員

なお顧問・参与・常任理事も改選されました。

社日桜と十神山

安来節が育った自由闊達な風土

安来節の数多い素唄の中で、広く一般に知られ、親しまれている歌詞に次の唄がある。

〱安来千軒 名の出た所
社日桜に十神山

明治の頃に安来の町の人々が「おらがまち」を自慢して、誇らしげに唄ったものである。ところが近頃、インターネットで安来の観光名所を探索しても、社日桜や十神山は紹介されていない。安来節を全国に広めた唄として尊重されている筈だから、これらについて述べることにする。

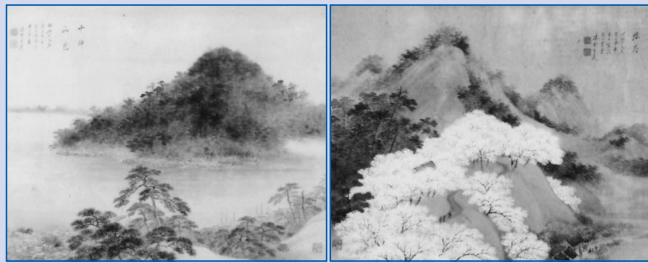
社日桜の由来 (二つの説)

今から二百数十年の昔、安来公園のある社日山に、当時の乗相院の住職が数本の桜の苗木を植えた。それらが大きく成長して、社日山に桜の花が咲くようになった。明治時代になってその内の一本だけが残り、大樹になって四方に枝を広げ桜が満開になると、四キロメートルも離れた荒島方面から、その絢爛たる咲きっぷりが眺められ、誰いとうとなく「社日桜」と呼ぶようになった。しかし明治二十六年にこの地方を襲った大暴風雨により無惨にも倒れて枯れてしまったという。

ところがこの由来について、もう一つの説がある。時は松江藩第七代松平不昧公の時代に、野坂治左衛門という人が植えたのが始まりという。この桜は明治初期まで樹勢が旺盛で、名実ともに「社日桜」であった。しかし明治の中頃

になると衰えたので、二代目の苗木が初代の樹の近くに植えられた。

この二代目の「社日桜」も艶やかに咲き誇り、町の内外からの多くの花見客で賑わうようになった。しかしいつの頃か、幹にできた虫喰いの穴に蜂が巣を作ったので、これを駆除しようと誰かが燻したらしい。このために樹勢は急に衰え、遂に枯死したのである。



木村棲雲画「十神山色」(左)と「社日桜花」

並河健蔵

著『安来社日桜の歴史』に詳しく記されている。

十神山の故事

〱鶴が来ました 十神の山へ
さぞや亀島うれしかる

凡そ千三百年前、奈良時代に編纂された『出雲国風土記』の「意宇郡」の項に「砥神嶋」とあり、次いで「加茂嶋」と記されている。のち砥神嶋が陸つづきになり十神山と、加茂嶋が亀島と、それぞれ呼ばれるようになった。

歴史は下って室町時代、十神山に城を構えた松田備前守は、応仁の乱が起こると尼子清定と対立したため、あえなく落城した。その後は尼子十砦の一つとして、中海の海上権を掌握した富田城の支城として活用されたが、十六世紀中頃、富田城と共に毛利氏の水軍によって落城したという。

〱いつも変わらぬ 緑の色で
裏も表もない 十神

今の十神山は、かつての故事を秘めながら安来のシンボルとして港の水面に静かに影を映している。

安来の出身で明治・大正・昭和の時代に、南画一筋に生きた画家・木村棲雲の絵「十神山色」と「社日桜花」が、昭和十九年に当時の安来小学校に寄贈された。現在はこの小学校の二分化に伴い「十神山色」は十神小学校の「社日桜花」は社日小学校の校長室にそれぞれかけられており、安来の町の桜花で賑わった往時を偲ぶことができる。

〱汽車の窓から 社日ヶ丘は
一目千本花ざかり

と唄われる程の社日公園のその後の賑わいぶりは、前田敦



資格審査員 佐々木偉市

安来節を始めて

安来節を始めて五十有余年を越えました。唄・三味線・鼓・踊りいづれも簡単ではない。昔と今は教え方が違いますので、皆が戸惑います。昔は見て聞いて、ものまねしながら覚えましたが、現在は手を取りながら教えるのですから、なかなか自分の物にはならないのです。たまには他人の話聞くもよしと自分に言い聞かせて、いろいろ思案してきました。

節を盗み、努力しなければならなかったので大変でした。三味線の手も鼓の打ち方も踊り方も盗んだものです。ものまねしながらしていたので、見かねて「皆さん、鼓はこうして打つといいですよ」と教えていただき、育ててもらいました。

毎年、安来節全国優勝大会の予選会を通過する為に努力をしました。通過したら今度は入賞する為に努力をしました。それが自分を試すいい機会です。頑張りてください。ここまで来るのにいろいろな事がありました。やめようか続けようか悩んだこともありま。これから楽しい安来節にするように自分なりに頑張つて参ります。

私と安来節



指導部員 安達友之

私は手拍子で強に向けての歌い方だったと思います。そんな安来節を見たり聞いたりして育ちました。

私が安来節を習う切っ掛けとなったのは高校二年の秋、安来高校・山岳部で中国大会へ出場した時にキャンプファイヤーで島根県代表として安来節とどじょうすくい踊りをリクエストされ、どうしてもやらなくてはならない羽目となったからです。高野先生の安来芸文学院は二十名位の生徒でしたが、十七歳から二十五歳までの若い人々でしたのですぐに仲間となれました。それから四十五年経つた今日、安来節と農業が私を支えてくれる人生となりました。趣味として金魚のランチュウを飼育しています。

追伸、私からお願いです。師匠は針となり、弟子は糸となるよう心掛けて下さい。

私が幼かった頃の集落では、正月や春夏秋冬を問わず各種の神事が数多くありました。その度に、親戚や近所の方達が集まり宴席となり、お酒が進むにつれて誰彼となく手拍子で安来節が唄われたし、やがて安来拳が始まりました。拳に負けると酒を盃に一杯飲み干すのが仕来りでした。銭太鼓は女性の長襦袢を着て打たれ、最後はどじょうすくい踊りで終わりました。男役は、頬被りに鼻に割り箸を突っ込む姿で踊っていました。大変にぎやかな宴会で、それを老若男女で楽しみました。その頃の安来節

安来節全国優勝大会

記録ビデオのご注文は!!

1991年～2005年の毎年3日間の競演

高品質な映像 迫力の音質

●あの興奮をもう一度…! 毎年8月に行なわれる安来節全国優勝大会の記録ビデオです。あなたの晴れ舞台、映ってます。

●唄や踊りの手本に最適です。

●銭太鼓デモンstrーションバージョンもあります。

各¥5,500 (送料込み)

踊り編・銭太鼓編・各級ごとにご注文下さい。

ご注文お問い合わせ

中四国映像製作社連盟加盟

ヴィエルシー株式会社

〒690-0012松江市古志原2-9-60
TEL (0852) 27-7700
FAX (0852) 26-8132
E-mail vlcn@viola.ocn.ne.jp

大小鼓製造卸販売

杉本鼓店

住 所：島根県松江市馬潟町360-13
電話・FAX：0852-37-2033
E-mail：ks36013@web-sanin.co.jp

※通信販売も致しますので、お気軽にお電話ください。修理、下取りもご相談ください。

ひびけ歌声世界の空へ

支部情報

関西支部二十五周年を迎えて



関西支部長 田村 実

関西支部は昭和五十七年五月に設立し、今年二十五周年を迎えました。そこで九月三十日、此花梅香殿にて盛大に祝賀会を開催しました。松江支部の上代安夫先生、大東支部の佐々木偉市先生、津山中央支部の野坂亮若先生、岡山支部の名越三佐子先生、和歌山支部より日本民謡フェスティバルでグラプリを受賞された藤原真千子様や石倉喜充支部長の他



七名の参加をいただき総勢百二十名で開催致しました。式典では最初に上代先生より発足当時の想い出話に続き、各先生方より身に余る御祝辞を賜り、前支部長の梅若朝啄先生より支部長交替の挨拶、現支部長の謝辞と続き最後に佐々木偉市先生の乾杯の発声で祝賀会へと移りました。祝賀会では最初に足立稔先生が二十五周年祝賀会の為に作詞し戴いた歌詞を全員で合唱。島田会長からの祝電披露の後、関西支部歴代師範優勝者と大

国際親善交流 魚採りの踊との交流を体験して



東京支部長 棚橋 保

三月一日、気温十度の成田空港から六時間でベトナム・ホーチミン市の空港へ到着、一挙に気温三十四度の猛暑と道路従横に溢れんばかりのヘルメットなしのバイク、しかも三人・四人乗りもめずらしくない喧噪の増地に入る。ベトナムの民族楽器・舞踊については省いて、ベトナムでの親善交流のありと、飛行機でカンボジア・シエムリアップに一時到着、世界遺産のアンコールワット観光の合間をぬって、一回目、三月四日、現地アプサラダンスのプロチームとの交流を行った。魚採りの踊りは漁師の少年達と

少女達が採った魚を遣り取りしながら愛を育んでいく若さ溢れるリズムカルなもので、その過程で草がどじょうすくい踊りと似ている点で、私達の踊りにも共感の笑顔で応じてくれた。二回目、三月五日、現地のアプサラダンス学校を訪問、ここでも天女の舞いと魚採りの踊りを披露していた。披露したとき、私達は踊りと銭太鼓とでそれぞれ体験交流を行いました。最も忘れ難い思い出となった。校長先生のボラン



踊をたしなむ舞踊家だったが、ポルト時代という人類の遺産を亡くすという人類の負の遺産を小さな体で受け、シエムリアップに来て、小さな小屋を作り、子供達に踊りを教えている方で日本に云えば人間国宝級の人だった。末筆になりましたが、湖陵支部長 周藤恭一、伏子ご夫妻には大変お世話になりました。お礼申し上げます。

師範の演技、日本一の藤原真千子様より祝賀披露をして戴きました。会場は「アンコール・アンコール」の連発で時間の経つのを忘れるほど大いに盛り上がり、最後は関西支部・高井様の発声による一本締めで閉幕致しました。関西支部二十五周年にあたり、各方面の方より丁寧な御祝金や御祝辞を賜り心より感謝申し上げます。本道場に次ぎ二番目の大支部となりましたが、これからも本道の指導のもと頑張つて参ります。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

横浜市にどじょうっ子会誕生



関東支部長 若岑 礼

財団法人日本民謡協会の若岑緑峰に、「踊りで健康体操が出来ませんか」と横浜市より問い合わせがあったので、早速「安来節どじょうっ子会」で健康になる」というタイトルで健康にもつながるの

で二十名の募集をしたところ、定年退職者の人達から多数応募があった為にやむなく先着順で切りをした。場所は横浜市の翠風荘という素晴らしい環境の場所、四月から九月まで毎月二回の講習を行うことに決定した。まず初めに若岑緑峰の指導で、安来節どじょうっ子会のリズムに乗せて膝を鍛え、腰を落として歩く事が健康体操につながった。そこで本場のどじょうっ子会を教える。九月までには老人ホームのお誕生日会



の慰問に参加できるような腕前までなつたが、踊りの舞台経験とどじょうっ子会独自の笑顔作りの稽古を重ねれば、もつと上手になるという風に緑峰が指導したため参加者全員が希望されたので、引き続き関東支部は、横浜にぎわい座(横浜市公会館)を中心に十月より、伝統芸能安来節を幅広く広めながら、神奈川県全体の社会福祉活動として今後は私達会員の仲間を増やしていただき、「安来節で健康になる」とを合い言葉に楽しくやっていただにしたいと願っています。



広島西支部長 橋本 邦明

安来節保存会・広島西支部が設立されたのが、平成七年です。私が安来節を習い始めたのが平成元年頃で、支部設立当時も先生のご好意により、松江支部に在籍してありましたが、松江支部では距離もあるし、便利が悪い事から何とか広島市のどこの支部に入ればもらえないかと思ひ、平成十三年に広島西支部にお願ひしてお世話になる事になりました。広島西支部の方々の交流はほとんど無く、ただ驚いた事は広島市内に支部が九支

部あるということでした。元は一つか二つだったと思ひます。広島西支部も当初は会員数も多かったようですが、ここ最近では会員の高齢化や民謡離れで会員数はかなり減りました。しかし、唄の方は月に一回指導部の松村先生、銭太鼓は浜崎先生のご指導を受けて何とか上達しようとして頑張っています。そして下手ながらも各種イベントやボランティア活動にも参加しています。これからの課題はレベルの低さでは定評の広島西支部ではあります。会員全員で安来節の品格を汚さないよう安来節保存会の諸先生方や先輩方、会員の皆様の暖かく厳しいご指導を仰ぎながら技術面で大幅なレベルアップを図り、そして会員の増加にも力を入れていきたいと思ひます。

ホンマ!あっきゃわん 安来節

安来節保存会 関西支部

TEL・FAX : 0745-76-3593

出雲の風土・歴史・民謡民舞体験の旅(第2弾)

平成18年4月8日~10日に第1弾として出雲地方の旅で大変有意義で楽しい体験をしました。この度は石見地方を予定しています。

- ポイント1. 世界遺産・石見銀山・石見神楽の見学
 - ポイント2. 温泉津温泉と美都温泉宿泊
 - ポイント3. 津和野、萩まで足をのばし観光
 - ポイント4. 浜田節の鑑賞と講習会(唄・舞)
- 平成20年9月 実施 2泊3日

安来節保存会 東京支部

事務局 東京都新宿区西新宿7-7-7 ハイライフ西新宿316号
TEL 03-3361-0488 FAX 03-3361-4293

グランプリ受賞

和歌山支部 藤原 眞千子



熱くなり思わずガッツポーズ！伴奏をして頂いた先生方に心より感謝申し上げます。

グランプリのカップと賞金はズシッと重たかったですね、夢が叶ってとても幸せでした。客席の皆様の拍手と声援が響き涼の安来節となつてしまいました。

平成十九年八月十五日、安来節保存会から表彰状をいただき感激でした。ありがとうございました。生涯正調安来節は私の宝歌として唄わせていただきます。更なる精進を重ねて参りますので、今後共一層のご指導をお願い申し上げます。

「安来節」に出会って三年。2007年は私にとって最高の年となりました。2006年度安来節全国優勝大会の優勝、真紅の旗をいただいた事その上、憧れの日本民謡フェスティバルに出場が決定、何ってラッキーなんでしょう。



地域伝統芸能奨励賞受賞

本部道場 一字川 耕士



どをし、表彰式前には、奨励賞以外の賞の代表の皆さんと高円宮妃殿下と十分程度、同部屋でお話をさせて頂くことが出来ました。印象としては、物凄く軽くお話しいただいて「あっ！すごく普通の方だな」と思いました。

昨日平成十八年十二月二十日、事務所の電話が鳴り、「財団法人地域伝統芸能マツザキコウジさんは？」「自分ですけど…」どうやら(助)地域伝統芸能活用センターより、同日あった選考委員会で団体・個人の八十六候補より自分が「地域伝統芸能奨励賞」に選ばれたとの事でした。突然の知らせだったので、「何だ？新種のオレオレ詐欺か？」と正直最初は疑ってしまいました(笑)。

授賞式は平成十九年七月二十八日、二十九日の両日、長野県松本市で開かれる第十五回地域伝統芸能フェスティバルであり、保存会より女性四名と父親に付いてきて貰いました。二十八日が表彰式だったので、二十七日に現地入りし、リハーサル等を行いました。客席奥のほうは四層のバルコニーになっており、とても広い会場でした。

二十八日、当日会場入りしてからは表彰式の通しなが始まり、賞状を活用センター会長の瀬島龍三氏から頂き、続いてメダルを高円宮妃殿下に掛けて戴きました。続いて披露の前にインタビューがあり、私自身何千人の前で喋る事は初めてだったのでかなり心配していましたが、まあ何とかまともな受け答えが出来ていたかなと思います(笑)。

訃報



昭和四十二年に安来節保存会に入会され今日まで副指導部長・副資格審査長を歴任され安来節保存会に多大なご功績を残されました絃 名人 野坂亮利さん(七十六歳)が平成十九年十月三十日逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

昭和五十二年 准名人
平成十二年 名人

会員の声 コーナー

九十四才で踊師範の資格審査へ挑戦

東京支部 尾上 武夫

私は平成十九年度の師範昇格審査に合格することが出来ました。これもひとえに柵橋支部長の薫陶は云うにおよばず、水戸教室の若い仲間の励ましがあつたからこそと感謝している次第です。またこの度の審査に際しては、本場の諸先生方の皆様とりわけ審査員の先生方の温情によるものと思っております。心よりお礼申し上げます。



「鼻当て付けて 踊れる櫛寿(九十四才)かな」に負けないように気持ちを引き締め、なお年齢的なことも考えてマイペースを崩さないようにしています。

安来節保存会会員特典！

次の施設で安来節保存会会員証をご提示されますと次の特典が受けられます。

- ・足立美術館入館料が2,200円から2,000円となります。
- ・安来節演芸館 観賞料半額

支部設立	支部廃止
〈大根支部〉 支部長：玉川 隆正	〈温泉津支部〉 〈川本支部〉

事務局からのお知らせ

安来節のしおり(平成十九年度版)に誤りがございました。追加してお詫びいたします。

【追加】
米子中支部
P140 ◆三段 絃 三内 幹子